

グループホームの生活単位が及ぼす ケアの質への影響に関する調査

6人ユニットにみられるケアの特徴

○場面の一体感・距離感

- 1つのテーブルを囲みながら、利用者と職員が一体感を持って暮らしやすい、まとまりやすい
- 距離の近さによる利用者の安心感

○関係性の深まり・相対する人数

- 利用者同士、利用者と職員、職員の家族などの関係性が深まりやすい
- 職員が利用者に寄り添いやすい→常に背中を触っていてあげられる→見守りだけのケアから直接的な関わりへ

○職員の行動のしやすさ

- 一方の手で利用者と手をつなぎながら、他のことができる
- 1人の職員が1人の利用者にかかりきりの間も、他の職員に負担がかかりすぎない(日中2人体制がとれる場合)
- 個別に対応する時間がとりやすい

○その人らしさが引き出される日常生活

- 利用者のペースで暮らせる
- 一人ひとりが役割意識を持ちやすい、手をだしやすい
- 動作を待ってられる→自立支援

生活単位の見直し(9→6名)によって 期待される効果

利用者	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症高齢者の認知能力を助ける、物理的・人的環境の改善・ 環境からの刺激に考慮した生活規模による、生活の質の向上
職員	<ul style="list-style-type: none">・ 生活単位の小規模化による、ゆとりあるケアの実現・ ストレスの軽減・ 職員の育成、成長を促す場・ 夜間等の安全性向上
経営者	<ul style="list-style-type: none">・ 生活単位の小規模化によるケアの質向上・ 経営単位の拡大による経営の安定

生活単位の見直しによって考えられる 利用者のメリット

9名ユニット	6名ユニット
<ul style="list-style-type: none">• 人数が多いため、ともすれば、落ち着かない、環境に馴染み難いといった状況が起こりうる• 一緒に暮らす利用者や職員の顔を覚えづらい• 業務用の電気製品、調理器具などは、利用者には使い勝手が悪い• 利用者や職員の顔を認識し難い• 認識できない人間との共同生活がわずらわしくなりがち• 落ち着いて過ごせる自分の居場所を見つけにくい(認識し難い)	<ul style="list-style-type: none">• 自宅のサイズに近づくと、過程的な雰囲気や広さから、住まいとして受け入れやすい• 一緒に暮らす利用者や職員の顔を覚えやすい• 一般家庭で用いる電気製品や調理器具は、利用者も使用しやすい• 利用者や職員の顔を認識し易い• 馴染みの利用者に対する理解が深まり、相互関係が生まれ易い• 安心できる人間関係が構築される事で、落ち着いた生活を送ることができる

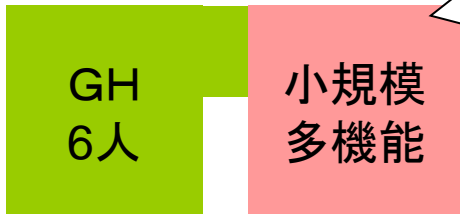
生活単位の見直しによって考えられる 職員のメリット

9名ユニット	6名ユニット
<ul style="list-style-type: none">• 利用者全員の行動や心身状態を把握し難い• 職員間の意思の疎通や工夫がないと、情報連携が難しい• 状態把握が不十分だと、本人に任せる部分が少なくなりがち	<ul style="list-style-type: none">• 利用者全員の行動や心身状態を把握しやすい• 職員人数が少ないため、お互いの情報を連携しやすい• 利用者の状態を把握しやすいため、本人の力を使ったケアが提供しやすい

生活単位の見直しによって考えられる 家族支援のメリット

9名ユニット	6名ユニット
<ul style="list-style-type: none">• 気軽に訪ねやすい雰囲気がないと、家族と利用者との距離を引き離してしまいがち• 家族の足が遠のくと、家族は認知症ケアの実践に触れる機会がなくなる• 利用者と家族との関係が維持し難い	<ul style="list-style-type: none">• 利用者の住まいという雰囲気があると、家族と利用者との距離が縮まる• 家族が頻繁に訪ねてくると、認知症ケアの実践に触れる機会が増える• 家族の認知症に対する理解が深まり、相互の関係の再構築につながる

サテライト1



GH+小規模タイプ

- ・小規模を使いながら、必要に応じてGHへ移動
- ・GHから、小規模多機能への移動を通じて、在宅復帰へ

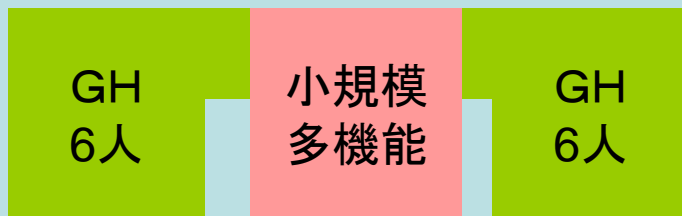
サテライト2



1ユニットタイプ
(空き家活用等)

- ・近隣の空き家の有効活用
- ・馴染みの環境での少人数ケア

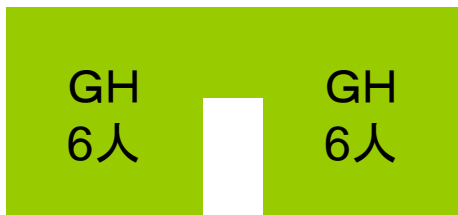
センター事業所



サテライト統括者の配置
サテライトのバックアップ機能

- ・夜間配置規準の見直し
- ・医療連携体制加算における看護師配置規準の見直し

サテライト3



GH+GH

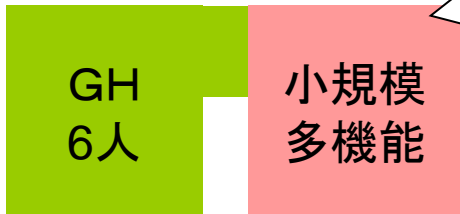
サテライト4



3ユニットタイプ

1つの事業所でサテライト拠点の運営を可能に

サテライト1



GH+小規模タイプ

- ・小規模を使いながら、必要に応じてGHへ移動
- ・GHから、小規模多機能への移動を通じて、在宅復帰へ

サテライト2



1ユニットタイプ
(空き家活用等)

- ・近隣の空き家の有効活用
- ・馴染みの環境での少人数ケア

特別養護老人ホームを母体とするサテライト展開

特別養護老人ホーム

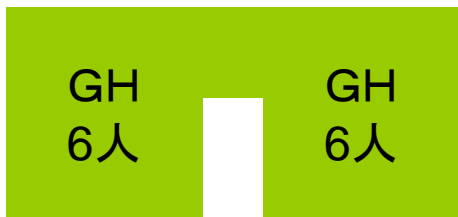
サテライトのバックアップ機能

特養のサテライト展開によるメリット

- ・入所者を地域(GHや小規模)に移動できる
- ・老健施設や療養病床の入所者を受け入れられる

- ・夜間配置規準の見直し
- ・医療連携体制加算における看護師配置規準の見直し

サテライト3



GH+GH

サテライト4



3ユニットタイプ

特養の地域分散(サテライト)型ケアの推進

認知症ケアの質を高めていく要素・しくみ(仮説)

確固たる経営理念・運営者や管理者の思い

労務管理

処遇の安定、就労の継続
モチベーション維持

環境づくり

利用者の居心地良さ、家族の居心地の良さ、職員の働きやすさ

人材教育

ケア体制・方針

職務へのやりがい・意欲、社会的な役割意識、認知症ケアの専門性向上、自己決定支援
関係性の深まり、個別対応の多様化、地域社会生活の重視
家族支援、等

事業所理念と教育に支えられた人材

- ・認知症ケアの専門性
- ・利用者に向き合える寄り添える
- ・地域社会生活を重視した支援
- ・利用者と家族の関係を支援する
- ・自己決定の支援
- ・関係性を使ったケア
- ・積極的な個別的ケア
- ・重度化や看取りケアへの取り組み

ケアの質と状態改善との相乗効果

職員のモチベーション維持
利用者の満足度の向上

ケアの効果

居心地の良さ
心地よさ
状態改善
ターミナルも含めた継続的な支援と暮らし